

平成22年死亡労働災害発生状況

福井労働局

番号	発生月	業種	事故の型	起因物	年代	職種	発生状況
1	1月	製造業 (その他の金属製品製造業)	崩壊、倒壊	金属材料	40歳代	溶接工	建築用のH鋼柱(長さ約8m、重さ約3.5t)の製作作業において、被災者は、H鋼柱を2台の架台(高さ約1m)の上に置き、そのH鋼柱の上に乗って鋼板(プレスという鋼製の補強板)を溶接しようと、「仕口」(梁等を取り付けるためにH型鋼を溶接して張り出した部分)に手を掛けたところ、H鋼柱が倒れてきて被災者の頭部及び腰部に当たった。 当時、当該H鋼柱の上で、溶接作業を行っていた同僚は、H鋼柱が倒れる際に床に飛び降りて両足かかとを骨折した。
2	2月	建設業 (その他の建築工事業)	交通事故	トラック	60歳代	運転者	砂利採取場へ砂を積みに行くために10tダンプトラックを運転して道路を走行中、道路の左側から飛び出してきた犬を避けようとハンドルを右に切ったところ、対向車線側の電柱に激突し、その際に胸部をハンドルに強打し、3日後に死亡した。
3	3月	建設業 (橋梁建設工事業)	墜落、転落	足場	20歳代	とび工	鋼製の橋梁の塗装工事に仮設していたつり足場の解体作業において、安全ネットを取り外し、足場板の撤去回収後、足場板を乗せていた単管(通称「ころばし」「おやご」)の緊結クランプを取り外すため、単管に足を掛けて作業中、誤って下を流れる河川に墜落して溺死したものの。
4	3月	運輸交通業 (道路貨物運送業)	交通事故	トラック	40歳代	運転手	荷を積んだ大型トレーラーを運転して国道を走行中、直線で緩やかな下り坂で横転し、その際被災者は、路上に投げ出されて死亡した。道路は前夜に降ったみぞれで、路面が凍結していて、スリップしたものと推定される。
5	3月	製造業 (その他の電気機械器具製造業)	挟まれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	60歳代	製造工	大型のドラムに巻かれたケーブル線を、小型のドラムに巻き直す作業において、大型のドラムから余分に繰り出されたケーブル線を大型のドラムに巻き戻す作業中、そのケーブル線が被災者に絡んで身体ごと大型のドラムに巻き込まれた。
6	8月	建設業 (その他)	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	30歳代	その他の作業員	精製した原油の輸送を行うパイプラインの防食修繕工事において、取り外した防食テープが詰められた土嚢袋(重さ約5kg)を運搬する作業を行っていたところ、現場で倒れているのが発見され病院に搬送されたものの熱中症により死亡したものの。
7	8月	建設業 (その他の土木工事業)	転倒	作業床、歩み板	50歳代	庭師	庭木の剪定現場において刈り込みばさみ(長さ約50cm)を持って移動中、何らかの原因で転倒し、刈り込みはさみが被災者の左脇腹に刺さったものの。
8	12月	清掃・と畜業 (その他の廃棄物処理業)	墜落、転落	建築物、構築物	50歳代	技能者	排水処理施設において、被災者は水質の検査等の作業を行っていたところ、流量調整槽(深さ約5m)内を点検するための点検口(通常はふたがされており、点検時に開放する開口部)から墜落し、溺死したものの。